

インド 教育（EdTech）産業 調査

2021年1月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

デジタル貿易・新産業部

【免責条項】

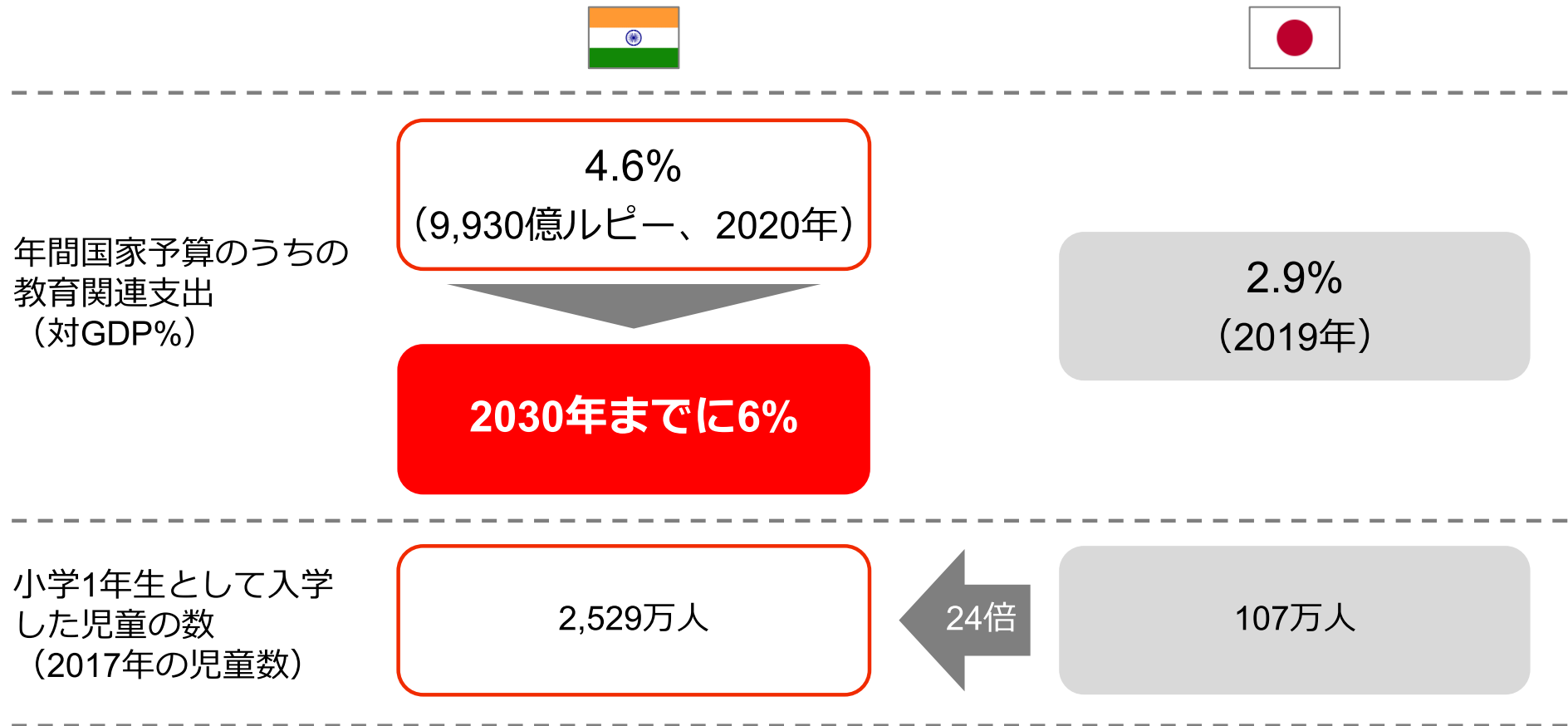
本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

- 教育産業を取り巻く状況
- 国家教育政策（NEP2020）
- EdTechの傾向
- 日本のEdTech産業のインド戦略

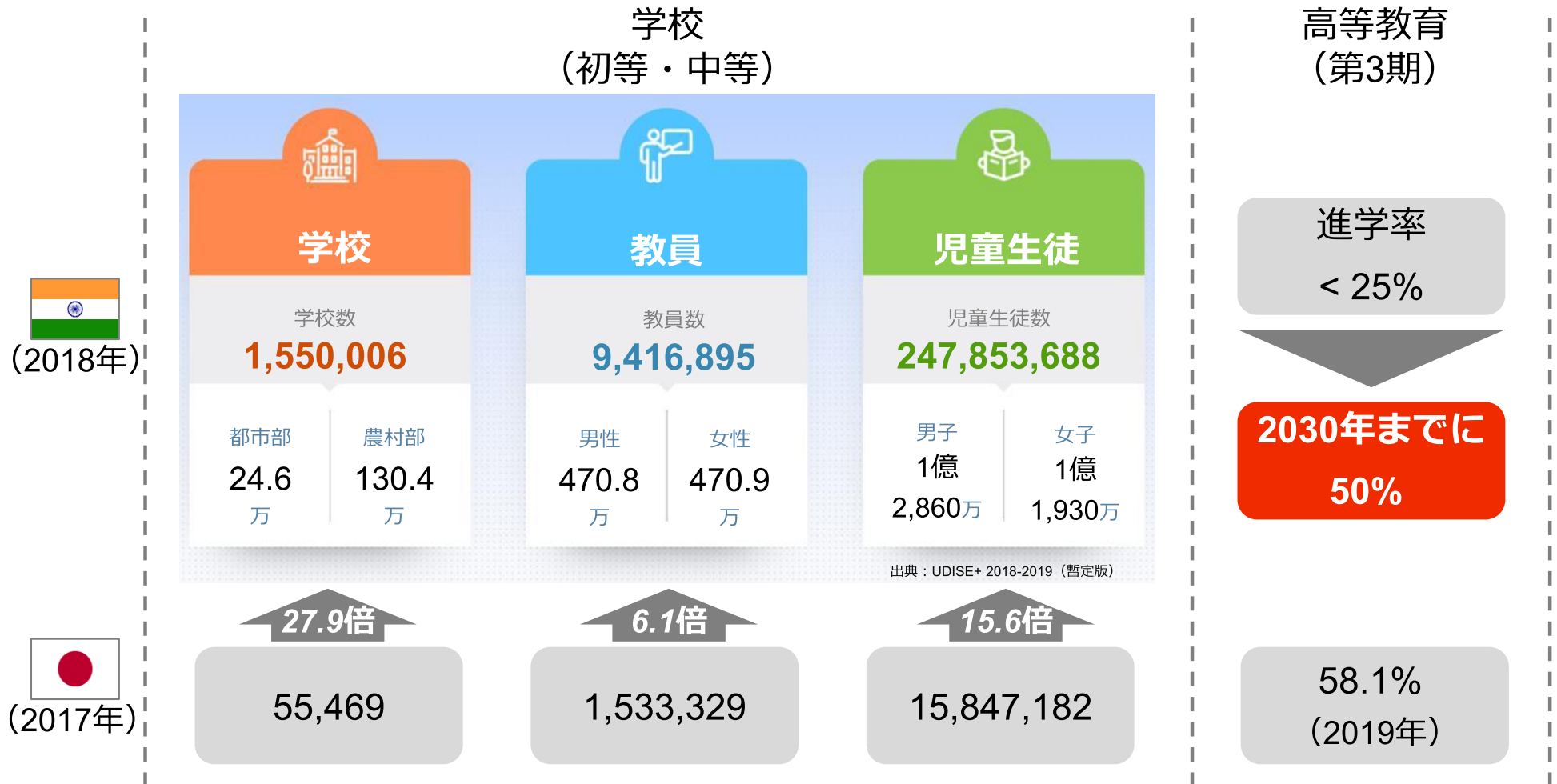
「グローバル・ナレッジ・ハブ」を目指すインド

日本－インドの比較 ①（国家予算、児童数）

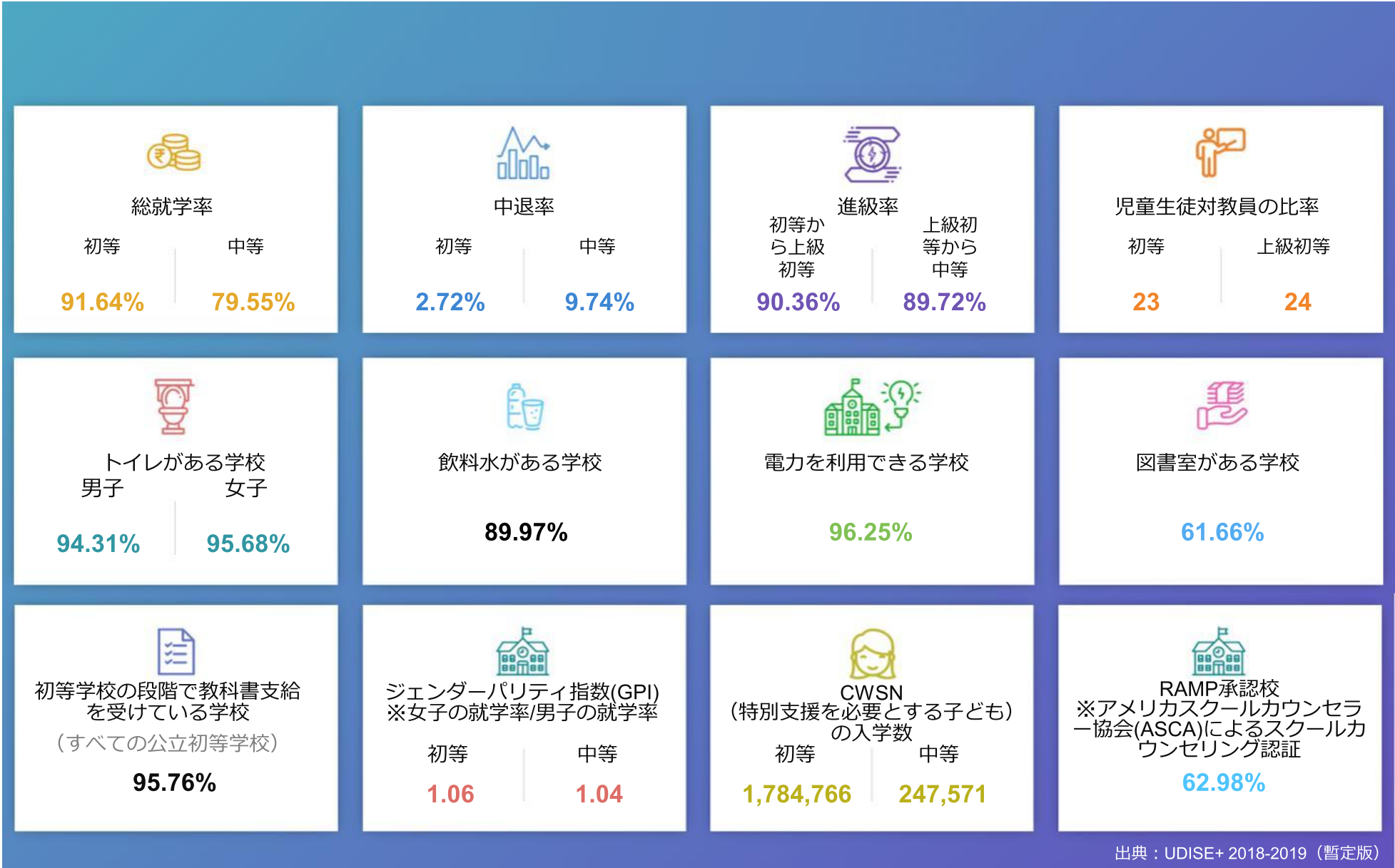


成長し続けるインドの巨大な教育セクター

日本－インドの概要の比較 ②（学校教育）



インド教育セクターの重要指標一覧

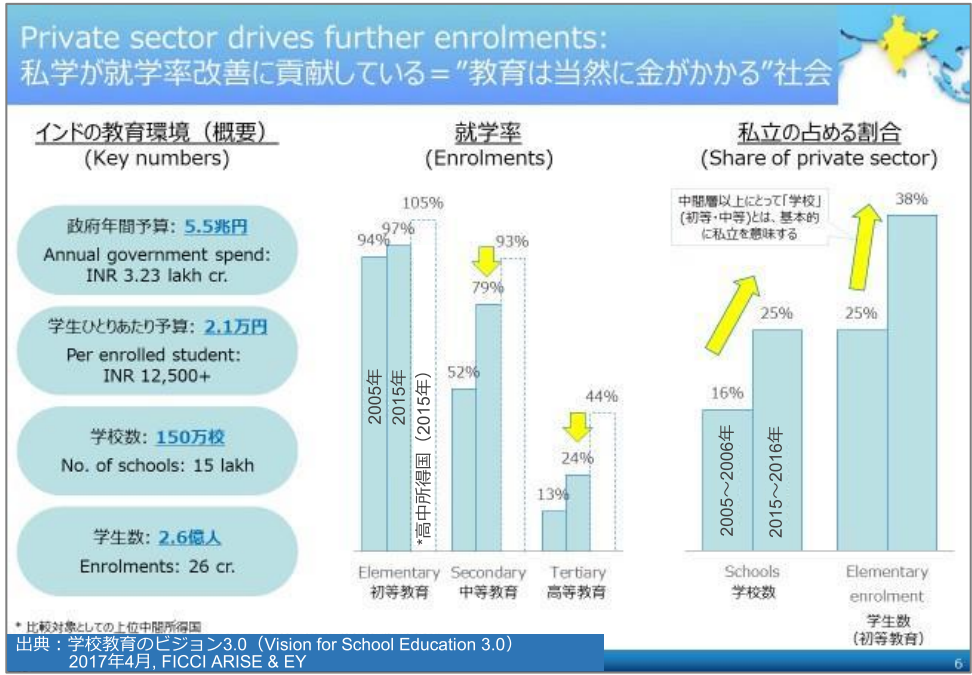


出典：UDISE+ 2018-2019 (暫定版)

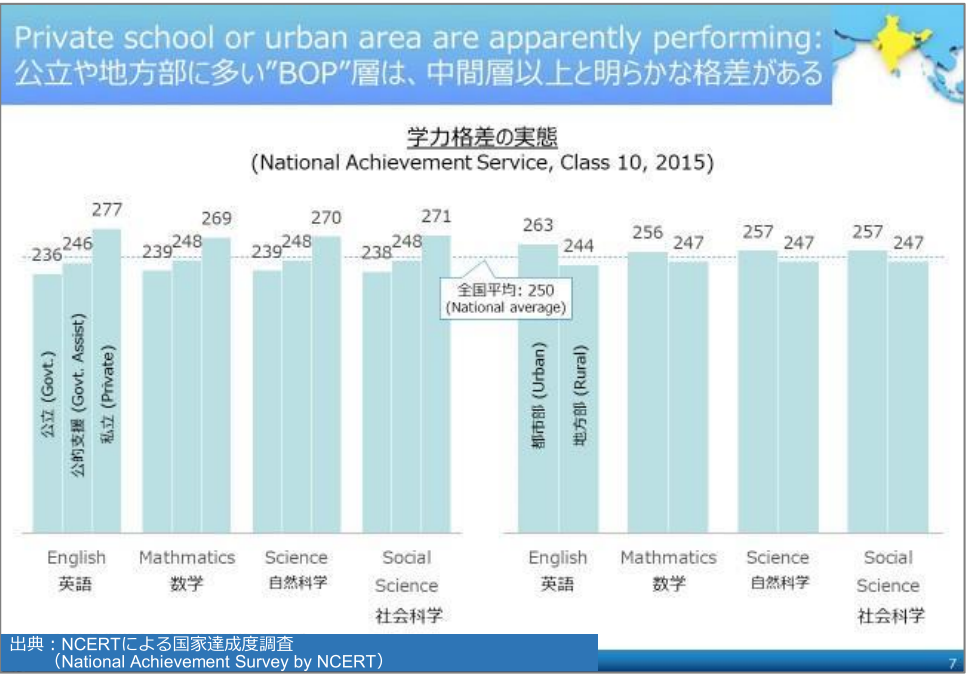
コロナ禍がテクノロジー活用の広がりを促進

新型コロナウイルスによる影響

民間主導で市場が拡大



リソース不足により「格差」が発生



新型コロナウイルス感染拡大

オンライン化を
強かに推進

オンライン/テクノロジー活用は教育セクターの「ニューノーマル」に

Aatmanirbhar Bharat (自立したインドキャンペーン)



ポストコロナに向けてテクノロジーを活用した公平な教育政策

PM eVIDYA

デジタル/オンライン教育をさまざまな形で利用できることを目指すプログラムを開始予定。内容は以下の通り。

- DIKSHA 全学年を対象として州または連邦直轄領での学校教育向けに、eコンテンツやQRコードを活用した教科書を提供 (全国共通デジタルプラットフォーム)
- 1年生から12年生まで、各学年専用のTVチャンネルを提供 (1学年1チャンネル)
- ラジオ、コミュニティラジオ、ポッドキャストをフル活用
- 視覚・聴覚障害者向けに特別なeコンテンツを提供
- 2020年5月30日までトップ大学100校に対し、オンラインコースの開設手続きを不要とした



@nsitharamanoffc



nirmala.sitharaman



nsitharaman

無料のオンラインリソースで「在宅学習」を後押し

オンラインで利用可能なリソース

NMEICT

National Mission on Education Through ICT

「学習者がワンストップで学習リソースを入手できるようにするため、ICT教育国家ミッション（NMEICT）は教育省を通じて資金調達し、インド国立デジタル図書館（NDLI）プロジェクトを支援している」

The screenshot shows the homepage of the National Digital Library of India (NDLI). At the top, there is a navigation bar with 'Browse' and 'Search' options, and a 'Language' dropdown set to 'English'. Below this, the page is sponsored by the Ministry of Education, Government of India, and developed by the Indian Institute of Technology Kharagpur. The main header features the NDLI logo and the slogan 'One Library All of India'. A search bar indicates over 51,653,402 resources are available. The page is organized into three main sections: 'STUDY AT HOME' with categories like School, CBSE Examination Preparatory (NEW), Engineering, Science, Humanities, Literature, and Law & Management; 'COVID-19 RESEARCH REPOSITORY' with categories like Scholarly Publications, Data Sets, Documents & Videos, Journals & Conferenees, Ideas & Funding, and Challenges & Startup; and 'FEATURED COLLECTIONS' with items like Birth Centenary of Satyajit Ray, On this Day, Person of the Week: Munshi Premchand, Topic of the Week: World Mental Health Day, and Talks & Webinars.

- 教育産業を取り巻く状況
- 国家教育政策（NEP2020）
- EdTechの傾向
- 日本のEdTech産業のインド戦略

34年ぶりに改定された国家教育政策（NEP）

NEP2020



章	内容	ページ
	はじめに	3
第1部 学校教育		
1	幼児期のケアと教育：学習の基礎	7
2	基礎的な読み書き・計算能力：学習において緊急かつ必須の要件	8
3	中退率を下げ、すべての人にあらゆるレベルの教育機会を提供する	10
4	学校カリキュラムと教授メソッド：学習は包括的、統合的、魅力的で楽しめるものでなければならない	11
5	教員	20
6	公平でインクルーシブな教育：すべての人に教育を	24
7	学校群を通じた効率的なリソーシングと運営	28
8	学校教育のための基準設定と認定制度	30
第2部 高等教育		
9	質の高い大学教育：インドの高等教育制度のための新しい未来志向ビジョン	33
10	機関の再編と統合	34
11	多領域で包括的な教育にむけて	36
12	学生にとって最適な教育環境および支援とは	38
13	意欲・活力があ能力の高い職員	40
14	高等教育における公平さとインクルージョン	41
15	教員養成	42
16	職業教育を考え直す	43
17	あらゆる分野において質の高い学術研究を促す新国立研究財団 (New National Research Foundation)	45
18	高等教育の規制システム変革	46

国家教育政策2020

19	高等教育機関における効果的な運営とリーダーシップ	49
第3部 その他の重点分野		
20	専門教育	50
21	成人教育と生涯学習	51
22	インド国内の言語、芸術、文化の推進	53
23	テクノロジーの活用と統合	56
24	オンラインおよびデジタル教育：公平なテクノロジー活用のために	58
第4部 実現にむけた取り組み		
25	中央教育審議会(Central Advisory Board of Education)の強化	60
26	資金の調達：すべての人に手の届く質の高い教育を	60
27	実践	61
	略語一覧	63

章

1. 学校教育
2. 高等教育
3. その他の重点分野
4. 実現にむけた取り組み

NEPでは「教育」のあらゆる側面を再定義している



NEP2020の描く未来



児童生徒

- 児童・生徒の活動と参加
- 学習環境と児童・生徒への支援
- 児童・生徒への経済支援
- 公平さとインクルージョン

教職員

- 熱意・活力があり能力の高い教職員
- 質の高い学術研究

(教育) 機関

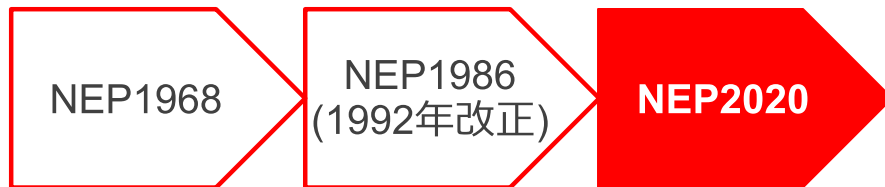
- 機関の再編成と統合
- 包括的かつ学際的な教育
- 国際化
- 効果的な運営とリーダーシップ
- 専門教育

規制

- 質の高い大学
- 職業教育を考えなおす
- 規制システムの変革
- 教育の商業化を抑制する
- インド国内の言語、芸術、文化の促進

教育システムの全面的な再構築が始まっている

国家教育政策 (NEP)



2020年教育予算

- インドの労働年齢人口は2030年までに世界最多となる見通し
- 教育分野にGDPの4.6%にあたる9,930億ルピー（130億米ドル）を割り当てた

「インドを知識のグローバルハブに」
GDPの6%をあて、高等教育への進学率を50%以上に

< 学校：K-12（幼稚園から12年生まで） >

- “10+2”から“5+3+3+4”へ
- 暗記からプロトコルへ
- 6年生以降は職業訓練コースを選択可能にする
- 中央政府のイニシアチブとして、国内のすべての教員のために新教員養成審議会を設立する

< 高等教育 >

- すべての大学に共通の入学試験を導入する
- 音楽、芸術、文学をすべての大学で教える（インド工科大学(IIT)含む）
- 履修単位登録制度の導入により入学・修了を柔軟にする
- 国際的な学術機関を誘致する

NEPのこれまで

なぜ新しい教育政策が必要なのか

1

中央から各州へ

方針：国家教育政策（NEP）の担う役割は、教育を発展させるための総合的な枠組みであり、その方針は数十年ごとに改訂され、その時々の特徴が教育システムに反映されている。

義務ではない：州政府はNEPに準じるよう求められているが、NEPは各州を拘束するものではない。例えば、1968年の第1次教育政策が示した3言語方式を現在もタミル・ナドゥ州は採用していない。

2

今回の前は 1968年と1986年

これまで：国家教育政策は1968年のインディラ・ガンディー政権期と1986年のラジブ・ガンディー政権期に発表された。1986年のNEPは、1992年のPVナラシマ・ラオ政権期に改訂された。

NEPとインド人民党（BJP）：1977年から1979年まで続いたジャナタ党政権を構成していたインド大衆連盟（BJS）（BJPの前身）は、1979年に政策の策定を試みたが、中央教育審議会から賛同を得られなかった。これはBJPによるNEP策定の二度目の試みといえる。

3

遅延の末にできた 最新版

国民民主同盟（NDA）によるNEP：2014年にNDA政府は新しいNEP草案を手がける委員会を設置した。インド宇宙研究機関（ISRO）の元ディレクターであるK.Kasturirangan博士率いる第2期委員会は締切を5回延長し、2019年5月31日に報告書を人的資源省大臣に提出した。

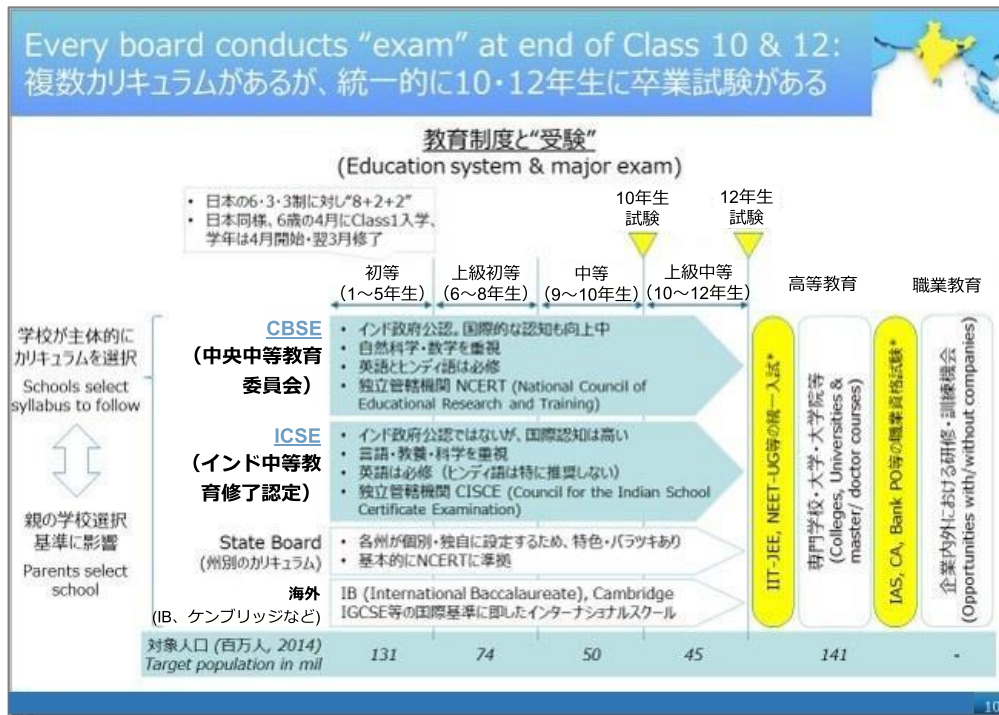
その後、方針の草案を公開しフィードバックや提案を受け付けたうえで、全州政府と協議し中央政府が最終方針を決定、国会に提出された。

まず学年制から包括的改正をスタート

NEP2020以前の教育スキーム

“10+2”の後に高等教育が続く

低年齢から始まる厳しい競争



NEP2020

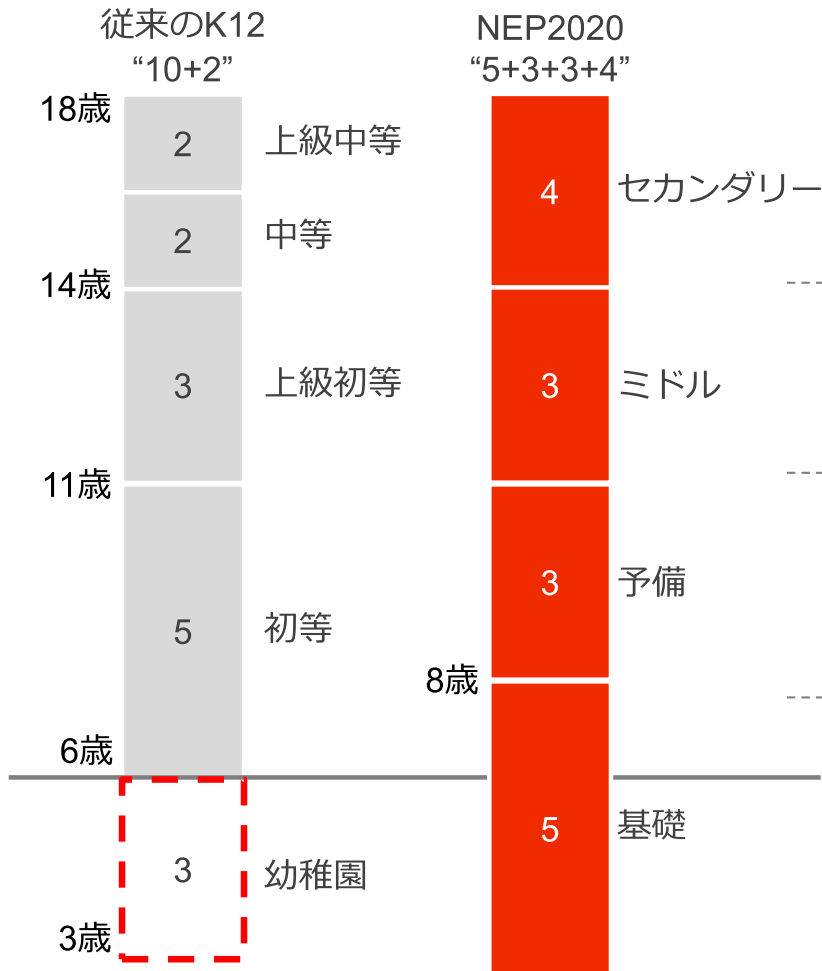
現行システムを全面的に再構築

注). *高等教育機関

出典：JETRO Edtechレポート2018

従来の“10+2”スキームを“5+3+3+4”に変更

学校における主な変更点



- 可能な範囲内であれば、生徒がどんな科目群からでも選択できる学際的研究を目指す
- 批判的思考と柔軟性をより重視し、関心のある科目（技術・芸術系含む）を生徒自身が選択できるようにする
- 科学、数学、芸術、社会科学、人文分野において、より体験的な学習を目指す
- 暗記学習ではなく批判的学習目標を重視する
- 遊び、発見、教室での活動や交流に基づいた学習に重点を移す
- 引き続き、言語および計算能力の開発に重点を置く
- 3年間の幼児/Anganwadi（地方部の学童保育所）教育と2年間の初等教育で構成する
- 言語能力の開発と、遊び・活動に基づいたカリキュラムによる教育を重視する

高等教育における主な変更点

新しい学校システム：“5+3+3+4”

- 学部は3年制または4年制とし、それに応じた認定を与えて卒業の選択肢を複数設ける
- 4年制の学際的学士プログラムを推奨する

修了時、各課程に応じた認定を与える

- 年間の訓練（職業・専門分野含む）修了時に修了書を与える
- 2年間の学業修了時にディプロマを与える
- 3年間のプログラム修了時に学士号を与える

研究を伴う学位

- 4年制プログラムでは「研究を伴う」学位取得も可能（学生がその専攻分野において厳格に定められた研究プロジェクトを修了した場合）
- 高等教育機関はスタートアップインキュベーションセンター、テクノロジー開発センター、先端分野研究センターを設立するほか、産学連携や人文・社会科学研究を含む学際的研究を促進し、研究とイノベーションに重きを置く

自由な入学・修了を可能にする選択肢（履修単位登録制度）

- 評価の高いさまざまな高等教育機関から得た履修単位をデジタルデータで保管
- 再度プログラムに編入した場合は、既に取得した履修単位を流用できる

実行に向けた主な背景・懸念点

1. 大学数の増加に向けて（新規開校ペース）

現在インドには大学が1,000校存在する。2035年までに進学率を倍にするためには、今後15年間にわたり毎週1校ペースで大学を作る必要がある。

2. 現在修学していない2,000万人の子供を修学させるためには

現在も教員の足りない学校は存在するが、今後15年間に毎週50校ずつ開校し、校長を50人、教員を200~300人採用する必要がある。

3. 教育支出をGDP6%（2兆5,000億ルピー）規模へ

全国に学校・大学を建設、教員や専門職員を採用、無料の朝食提供などの運営資金として有効活用する。

4. 教育以外の緊急政策を優先する可能性

NEPは20年計画であるため、医療や経済対策など、より緊急かつ重要な政策が優先される可能性がある。

5. 訓練を受けた教員を多数確保する必要がある

カリキュラム変更の多くの部分（例えば教授メソッドの訓練や理解など）において、教員および保護者が教育に対する考え方を大幅に変えることが求められる。

6. 学際的な高等教育には文化の変革が必要

大学はこれまで学部別の縦割りが強かった。今後、教員は各分野の専門家でありつつも他の分野への関心を尊重するマインドが求められる。今後中長期的に、高等教育者のマインドセットの変革が続く可能性がある。

高等教育機関のための望ましいシラバス

総合的な自由教育を目指す			
基礎的モジュール	21世紀のスキル	主な教養科目	専攻分野
<ul style="list-style-type: none">・インド：最も重要な視点・人類文明の進化・インド文明の進化・インド叙事詩の謎を解き明かす・インド文学・作家概論・インドの発見：歴史と未来・インド国憲法および刑法	<ul style="list-style-type: none">・クリティカルシンキング・クリエイティブライティング・クリエイティビティと問題解決・コミュニケーションと協働・メディアリテラシー・柔軟性と適応力・自主性・異文化に対するスキル・生産性と説明責任・リーダーシップと社会的責任・デザイン思考	<ul style="list-style-type: none">・哲学・倫理・価値観・人種、宗教、肌の色、ジェンダー、年齢、富の多様性・美学・世界各国の短編作品・ジェンダー平等・芸術・映画作品の鑑賞・アイデンティティと文化・比較宗教・社会システムと社会関係の管理・リーダーのケーススタディ	<ul style="list-style-type: none">・心理学・人類学・社会学・考古学・国際関係・メディアとコミュニケーション

- 教育産業を取り巻く状況
- 国家教育政策（NEP2020）
- EdTechの傾向
- 日本のEdTech産業のインド戦略

新型コロナウイルスによるロックダウン中の動き

インドの動きは世界の流れと異なるが...

YOURSTORYRESEARCH

YOURSTORYレポート 2020年上期
スタートアップの資金調達

業界の展望

ベンチャーキャピタルによるEdTech投資は長期的に堅調見通し

Barclays Researchによると世界のEdTechへの支出は**2025年までに3,420億米ドル**に達し、年平均成長率は12%超となる見込みである。**成長の大部分はアジアが占める見通し**であり、同地域の多様な経済・社会的ニーズに合わせて、同じく教え方・学び方にむけたイノベーションが急速に発達するとみられる。

Barclaysは「Education Technology: Out with the Old School」と題したレポートにおいて次のように指摘している。

「新型コロナウイルス感染拡大の影響で、教育テクノロジーにはかつてないほどの注目が集まっている。107カ国で教育機関が閉鎖され、8億6,000万人以上の子供たちが影響を受け、その数は増え続けている。こうしてEdTechは最も注目すべきセクターとなった。リアルタイムでの学び方の変容は、投資家の関心を集める悔過となった。コロナウイルス感染拡大により既存の教育が実施できず、各国政府のオンライン学習に対する意識はより前向きなものになるだろう」

UNESCOの予想によると、質の高い教育に手が届きやすくなれば、一国の1人あたりのGDPは今後40年で23%向上するという。また、世界の「第4次産業革命」の後押しになるだろうともいわれている。

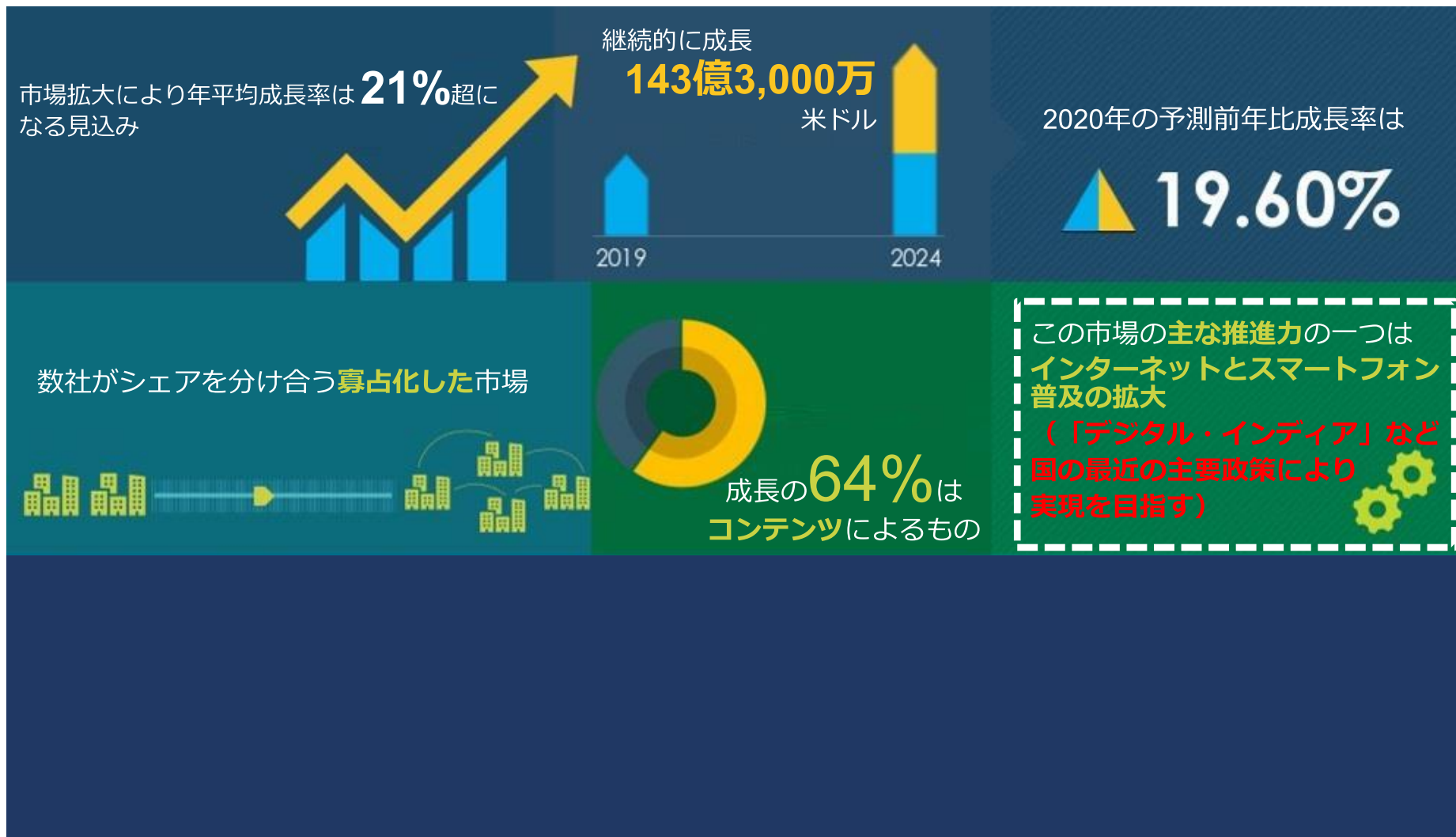
学習アプリのコンテンツを無料公開したことで、Edtechサービスの登録ユーザー数は、5,800万人と大幅な増加を見せた。

2020年7月15日
YOURSTORYレポート

「インド最大のeコマース企業は、ネットショッピング事業者ではなく教育事業者になるだろう」

有力EdTech企業Unacademy
共同創業者・CEO
Gaurav Munjal氏のコメント

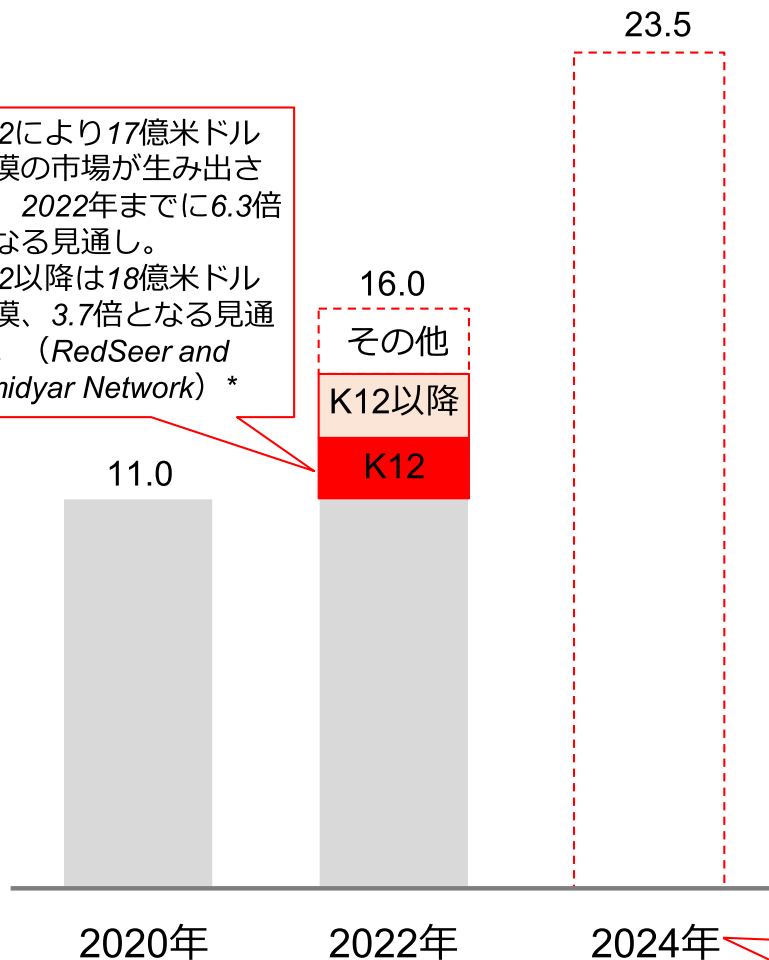
インドのオンライン教育 2020～2024年



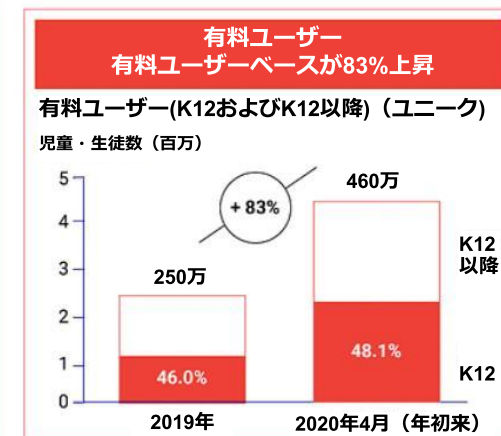
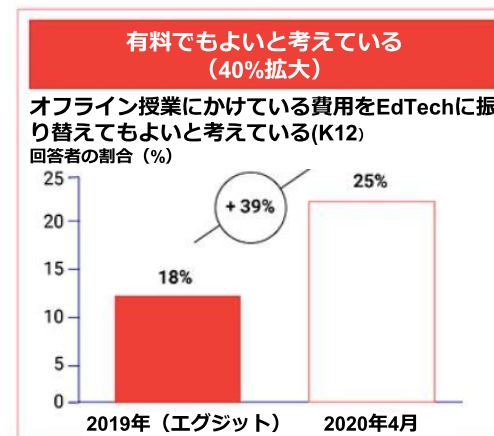
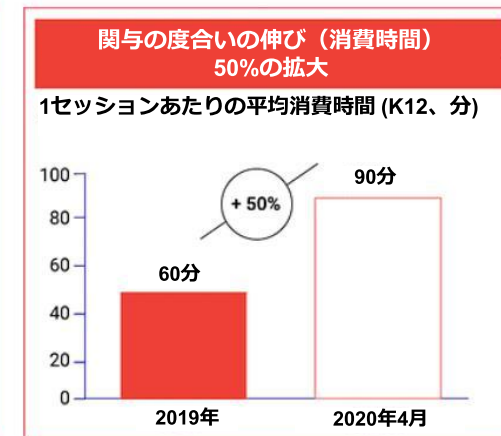
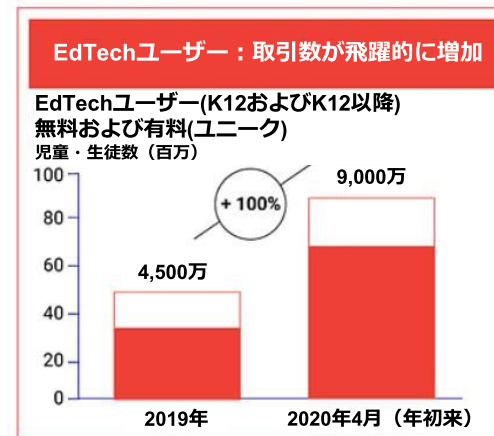
参考：市場予測と最近の指標

市場予測 (単位：10億米ドル)

K12により17億米ドル規模の市場が生み出され、2022年までに6.3倍になる見通し。
K12以降は18億米ドル規模、3.7倍となる見通し。(RedSeer and Omidyar Network) *



最近の指標



- オンライン教育市場は対2019年比で143億3,000万米ドルの追加成長が見込まれる
- 2019~2020年の成長率は19.6%、2024年までの予測CAGRは21%
- 市場成長の64%はコンテンツが占める見込み (Technavio)

注). *コンテンツ市場とみなす

インドのEdTechとは？

業界データベースTracxnによる定義：

テクノロジーを活用して個人の学習や能力向上を支援する企業。
インド国外に本拠を置く企業も含まれる。

• EdTech：

教育の実践や学習の成果を高めるための製品、アプリ、教育資材、ツールなどを手がける企業。これら企業は教育の実践を補助するための学習、授業、運営、学習管理、ITソリューションを提供する

• 非EdTech：

1. 自社でテクノロジーを持たない企業
2. サービス、コンサルティング、再販企業
3. オフライン教育サービス
4. 既存の教育機関

概要



6,583

Tracxnの
調査対象企業



614

出資を受けている
企業



4

メガ企業



31億米ドル
投資額

トップ企業



BYJU'S
2011年
ベンガルール
15億米ドル



upGrad
2015年
ムンバイ



Unacademy
2015年
ベンガルール
2億米ドル

数字で見るフィード

1

Unicorn企業

4

Soonicorn企業
※ユニコーン直前の
成長スタートアップ

58

Minicorn企業
※ユニコーンを目指す評価額
100万米ドル以上のスタートアップ

2

IPO済み

10

シリーズC+段階の企業

72

シリーズA+段階の企業

61

買収件数

6

Acqui-Hire件数

1,267

失敗件数(Deadpooled)

インドEdTechの概要

- 資金調達の間ではK12/大学および試験準備が大部分を占める（70%以上）
- iDream EducationのようなEdTech企業はソリューション開発を行い、農村部居住者向けの教育用タブレットを供給したり、学校において使用するデジタル学習用タブレットを提供している
- NEP2020はインドの教育の質を向上させ、幅を広げることが期待されている。また、EdTech業界のさらなる推進力になることも期待されている



市場の概要

- スタートアップ企業：3,600社以上（2015～19年）
- 資金調達額：17億米ドル（2015～19年）
- ユニコーン：1（BYJU'S）
- 主な州：
 - ベンガルール（資金調達の70%以上）
 - ムンバイ
 - デリー-NCR
 - ハイデラバード
 - チェンナイ
- 企業買収：2014年～2019年にスタートアップ35社が買収された

グローバル市場のセグメンテーション

- K12以前
 - 幼児期教育
- K12-
 - オンライン学習プラットフォーム
 - オンライン塾
 - 言語学習
 - カリキュラム作成
 - 検索ツール
- 高等教育
 - オンラインプラットフォーム
 - 企業研修
 - 次世代学校
- スキル開発
 - 企業向けスキル開発
 - 先端テクノロジー学習プラットフォーム
- テクノロジー開発企業
 - 学習管理システム
 - 学校運営用ツール

世界のEdTechの構図



資金調達状況は市場規模を測る重要指標

EdTechの主なビジネスモデルと資金調達状況







主なビジネスモデル	調査対象 企業数	被出資数	資金調達 合計	多額の資金を調達したビジネスモデル	プラット フォーム 上企業数	過去2年	
						調達額	ラウンド数
K12向けEdTech オンラインコース、教材、学習プラットフォーム、管理手段などを提供する企業	3,355	287	34億 米ドル	試験準備テック> デジタル学習> 多様な分野> 自己ペースでの学習	128	19億 米ドル	15
試験準備テック コース、教材、家庭教師ソリューション、学習プラットフォームなどを提供する企業	871	72	30億 米ドル	K12 向けEdTech 家庭教師向けビジネス管理ソフト	31	2,530万 米ドル	9
生涯学習 自分のペースで、またはインストラクターについて学ぶコースや教材を提供する企業	1,279	124	3億600万 米ドル	試験準備テック> デジタル学習> 多様な分野> インストラクターについて学習	27	3億2,200万 米ドル	5
高等教育テック オンラインコース、教材、学習プラットフォーム、管理手段などを提供する企業	1,416	127	2億1,700万 米ドル	高等教育テック> 学生入学サポート> ローン	19	3,490万 米ドル	6
企業研修 研修コース、プラットフォーム、ネットワーキングプラットフォーム、学習手段などを提供する企業	414	75	1億2,200万 米ドル	生涯学習> 専門分野> コース> 学際的学習	224	1億5,400万 米ドル	5
K12以前EdTech 学生、教師、保護者むけのプラットフォーム、ツール、教材	143	20	4,010万 米ドル	K12 向けEdTech> B2C学習ソリューション> 学 校カリキュラム> 複数科目> オンライン家庭教師	88	1,510万 米ドル	6
言語学習 外国語学習、専門資格取得のためのオンラインソリューションを提供する企業	134	21	2,850万 米ドル				

資金調達は「小さくても優れた」モデルだが、
メディアではあまり取り上げられない。
現地リソースの丹念な調査が必要。






ビジネスモデル別にみる注目企業

<p>生涯学習</p> <p>専門分野</p> <p>Eruditus 2015年、ムンバイ、1億6100万米ドル エグゼクティブレベルのプログラムを運営 Soonicorn企業 ステージ：シリーズD Joseph Neil Bearden、CZI、Innovation Capital、その他投資家5名/社</p>	<p>K12向けEdTech</p> <p>B2C学習ソリューション</p> <p>BYJU'S 2011年、ベンガルール、21億米ドル 学生向けに高競争率のテスト準備用オンライ ンコースや補習コースを提供 Unicorn企業 ステージ：シリーズH Prosus、DIC India、Ramya Bhaskar その他投資家39名/社</p> <p>Unacademy 2015年、ベンガルール、3億5,400万米ドル オンライン学習プラットフォーム Unicorn企業(20年9月より) ステージ：シリーズF Sandep Tandon、Aprameya Radhakrishna、 Lalit Mangal、その他投資家41名/社</p> <p>Vedantu 2011年、ベンガルール、2億600万米ドル オンライン個人指導プラットフォーム Soonicorn企業 ステージ：シリーズD WestBridge、Omidyar Network India、Blue Wolf Capital Partners、その他投資家16名/社</p> <p>Toppr 2013年、ムンバイ、1億700万米ドル 学生向けEラーニングおよび試験準備プラット フォーム Soonicorn企業 ステージ：シリーズD Abhishek Jain、Eight Roads Ventures、 Abhinav Daga、その他投資家21名/社</p> <p>WhiteHat Jr 2018年、ムンバイ、1,140万米ドル 子供向けオンラインコーディング指導プラッ トフォーム エディターおすすめ ステージ：他社により買収済み Omidyar Network India、Nexus Venture Partners、Owl Ventures、その他投資家1名/社</p>	<p>K12 EdTech</p> <p>教員向けテック</p> <p>Educomp 1994年、デリー、160万米ドル 学校向け教育ソリューション ステージ：上場 Gaja Capital、Arc Capital Development</p>	<p>試験準備テック</p> <p>デジタル学習</p> <p>BYJU'S 2011年、ベンガルール、21億米ドル 学生向けに高競争率のテスト準備用オンライン コースや補習コースを提供 Unicorn企業 ステージ：シリーズH Prosus、DIC India、Ramya Bhaskar その他投資家39名/社</p> <p>Unacademy 2015年、ベンガルール、3億5,400万米ドル オンライン学習プラットフォーム Unicorn企業(20年9月より) ステージ：シリーズF Sandep Tandon、Aprameya Radhakrishna、 Lalit Mangal、その他投資家41名/社</p> <p>Vedantu 2011年、ベンガルール、2億600万米ドル オンライン個人指導プラットフォーム Soonicorn企業 ステージ：シリーズD WestBridge、Omidyar Network India、Blue Wolf Capital Partners、その他投資家16名/社</p> <p>Toppr 2013年、ムンバイ、1億700万米ドル 学生向けEラーニングおよび試験準備プラット フォーム Soonicorn企業 ステージ：シリーズD Abhishek Jain、Eight Roads Ventures、 Abhinav Daga、その他投資家21名/社</p> <p>Varsity 2011年、ハイデラバード、6,160万米ドル 教育機関向け管理サービス Soonicorn企業 ステージ：シリーズB NSR Partners</p> <p>Embibe 2012年、ムンバイ、1,170万米ドル データ解析を活用したオンライン試験準備プ ラットフォーム エディターおすすめ ステージ：他社により買収済み Gaurav Talwar、Jeremy Wenokur、Philipp Freise、その他投資家10名/社</p>
<p>高等教育テック</p> <p>学生向け入学サポート</p> <p>Auxilo 2017年、ムンバイ、488万米ドル 学生向け教育ローンおよび教育機関向け中期 貸付 Soonicorn企業 ステージ：シリーズB バンク・オブ・インド、Indian Overseas Bank、AU Small Finance Bank、 その他投資家3名/社</p>			
<p>大学IT</p> <p>Pyoopil 2013年、デリー 教育機関向けにウェブベースの学校・学習管 理システムを提供 ステージ：Acqui-Hired</p>			

参考 インドEdTech大手企業の概要 (1/2)

 <p>BYJU'S The Learning App</p> <p>創業者 Byju Raveendran Divya Gokulnath</p> <p>調達資金総額 12億米ドル</p> <p>主な投資家 Tiger Global、Naspers、 Sequoia Capital India</p> <p>Google Play ストアランク 4.6</p> <p>ダウンロード数 合計(*2月18日) 1,000万以上</p>	 <p>unacademy</p> <p>創業者 Gaurav Munjal Hemesh Singh Sachin Gupta</p> <p>調達資金総額 8,850万米ドル</p> <p>主な投資家 Blume Ventures、Nexus Venture Partners、 Sequoia Capital India、 Steadview Capital</p> <p>Google Play ストアランク 4.6</p> <p>ダウンロード数 合計(*2月18日) 1,000万以上</p>	 <p>toppr</p> <p>創業者 Hemanth Goteti Zishaan Hayath</p> <p>調達資金総額 6,510万米ドル</p> <p>主な投資家 Eight Roads Ventures、 Helion Venture Partners、 SAIF Partners</p> <p>Google Play ストアランク 4.2</p> <p>ダウンロード数 合計(*2月18日) 500万以上</p>
 <p>Vedantu LIVE ONLINE TUTORING</p> <p>創業者 Vamsi Krishna Saurabh Saxena Pulkit Jain、Anand Prakash</p> <p>調達資金総額 5,990万米ドル</p> <p>主な投資家 WestBridge Capital、Accel 、Omidyar Network、Tiger Global Management</p> <p>Google Play ストアランク 4.2</p> <p>ダウンロード数 合計(*2月18日) 100万以上</p>	 <p>cuemath PERSONALIZED ONLINE TUTORING</p> <p>創業者 Manan Khurma</p> <p>調達資金総額 2,450万米ドル</p> <p>主な投資家 Alphabet、CapitalG、 Sequoia Capital India、 Trifecta Capital Advisors</p> <p>Google Play ストアランク 4.6</p> <p>ダウンロード数 合計(*2月18日) 5万以上</p>	 <p>doubt nut दोष निवारक</p> <p>創業者 Aditya Shankar Tanushree Nagori</p> <p>調達資金総額 1,890万米ドル</p> <p>主な投資家 Tencent、WaterBridge Ventures</p> <p>Google Play ストアランク 4.5</p> <p>ダウンロード数 合計(*2月18日) 500万以上</p>

参考 インドEdTech大手企業の概要 (2/2)


 <p>CollegeDekho Discover - Prepare - Achieve</p> <p>創業者 Ruchir Arora</p> <p>調達資金総額 1,300万米ドル</p> <p>主な投資家 GimarSoft、Man Capital</p> <p>Google Playストアランク 3.3</p> <p>ダウンロード数合計(*2月18日) 10万以上</p>	 <p>testbook.com ONLINE CENTER</p> <p>創業者 Abhishek Sagar Ashutosh Kumar Manoj Munna Narendra Agrawal Yadvendar Champawat</p> <p>調達資金総額 1,260万米ドル</p> <p>主な投資家 Iron Pillar Matrix Partners India</p> <p>Google Playストアランク 4.6</p> <p>ダウンロード数合計(*2月18日) 500万以上</p>	 <p>meritnation.com</p> <p>創業者 Pavan Chauhan Ritesh Hemrajani</p> <p>調達資金総額 1,140万米ドル</p> <p>主な投資家 InfoEdge</p> <p>Google Playストアランク 4.2</p> <p>ダウンロード数合計(*2月18日) 100万以上</p>
 <p>gradeup</p> <p>創業者 Sanjeev Kumar Vibhu Bhushan Shobhit Bhatnagar</p> <p>調達資金総額 1,000万米ドル</p> <p>主な投資家 Times Internet</p> <p>Google Playストアランク 4.6</p> <p>ダウンロード数合計(*2月18日) 1,000万以上</p>	 <p>OnlineTari</p> <p>創業者 Udai Meena Bhola Meena Vipin Agarwal</p> <p>調達資金総額 520万米ドル</p> <p>主な投資家 Michael & Susan Dell Foundation</p> <p>Google Playストアランク 4.4</p> <p>ダウンロード数合計(*2月18日) 500万以上</p>	

BYJU'Sのサービス ～高品質の個別学習プログラムが安価に提供されている

1年生～3年生 4年生～10年生-CBSE/ICSE/州
BYJU'Sの授業-総合オンライン指導
大学入試共通試験JEE/NEET-オンライン教室プログラム

授業は

- 学年およびカリキュラム別
- 目的の試験別に対応



インドのトップ講師による授業
4～10年生向け算数・数学および科学

1か月トライアル
16コマ (週4コマ)
3,500ルピーのところを2,000ルピーで

お申し込みは今すぐ


オンラインプラットフォームでのサービス

- トップ講師によるフレックスタイム制の授業
- 学校のカリキュラムと連動
- 1対1の個別フォローアップ

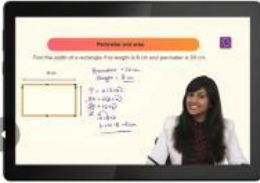
受講料例
1か月3,500ルピー
(算数・数学および科学の
授業16コマ、4～10年生)

授業のイメージ


BYJU'S受講のメリット




**インドの
トップ講師
が授業を
担当**




インドのトップ講師による
授業16コマ(週4コマ)




**学校の
カリキュラ
ムと連動**




授業中
その場で疑問を解決




**好きな
時間に
授業を
えらべる**




BYJU'Sのプレミアムアプリ
がすべて使える



個別指導



個別メンター
による
1対1の
ガイダンス



**個別の
補習授業**

価格・多様さ・認知度は各社とも、おおむね及第点を 得ている

企業名	価格の手頃さ (10点満点中)	多様さ (10点満点中)	認知されているイメージ (10点満点中)
BYJU'S	8 3万~5万ルピーは一般的な労働階級世帯にとっては高額ではあるが、2年間フルタイムで受講するのであれば、その価値はある	9.1 BYJU'sの講師の質は高く、授業内容は優れている	9.1 デジタル学習分野において、もっとも認知度が高く安定した評価を得ている
Vedantu	8.6 長期目標としてコースを利用するなら手頃な価格 授業1コマは80~130ルピー	8.9 K-12とそれぞれが受ける高競争率の試験のみに重点を置く。質は高いが多様性は乏しい	9 保護者および学生の認知度は最高レベル
Meritnation	8.1 質の高いコースの価格はBYJU'sとほぼ同レベル	8.9 主にK-12に重点を置く	9 学生の認知度が非常に高い
askITians	7.4 前出企業のコースと比べると、受講料が極めて高額	8.7 名前が示すとおり、工学部入試に特化している	8.8 工学部志望者の認知度は非常に高い。同サイトのコース受講生に限らず、入試準備のヒントを求めて同サイトを活用する学生が多い
Topper	8.7	8.7	8.6
Learning	BYJU'sのサービスと比べて非常に価格が手頃であり同じ内容のコースをほぼ半額で提供している	対象は主にK-12に限られる	VedantuやBYJU'sと比べて、やや人気が高い
Unacademy	9.9 ほぼ無料	8.6 講師の指導力が他のプラットフォームほど厳しく精査されないことに問題はあるが、コースの多様性には問題がない	9.1 高競争率試験の受験生、特にUPSC (公務員試験) 志望者に特に人気がある
Gradeup	8.5 低額で使えるテストアプリ、小テストやテストシリーズのパッケージが主体	8.9 テストアプリであるGradeupはJEEやNEETのほかさまざまな主要分野を網羅している	8.7 受験生に比較的人気がある
Testbook	8.5 手頃な価格で添削ツールと小テストを提供	8.6 添削ツールは高競争率な専門分野試験に向けたものK-12向けのテストシリーズはない	8.9 SSCおよびIBPS志望者といったニッチ層に特に人気がある
Hitbullseye	9 他MBAコーチングセンターと比べて非常に手頃	8.7 主にMBAコーチングに特化	8.9 MBA志望者に特に人気がある
TCYOnline	8.7 他テストおよび評価プラットフォームと比べて手頃	8.8 質の高いテストシリーズと非常に良質な模試	8.8 銀行の仮採用者/実習生、MBA志望者に比較的人気がある

大半のプレイヤーは低収益に喘いでいる

企業にとっての課題

最初にすべきは
規模拡大？収益化？

新しい課金モデル

- 成功報酬型 例：Buddy4Study
- 収入シェア型 例：Pesto Tech (スキル開発業界向け)

他業界からの支援オファー

ECおよびデジタル決済によるD2C
WEBセミナープラットフォーム
例：ShopifyやPaypal

EdTechでもっとも一般的な収益モデル

収益モデルタイプ	適した分野	メリット	デメリット
フリーミアム以降 利用分のみ支払う	<ul style="list-style-type: none"> ■ 試験準備 ■ スキル開発 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関心を集めやすい ■ 幅広い利用者層 ■ 普及率の向上 	最終的には、ユーザーの大部分が購入しない
利用分のみ支払う	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンライン資格取得 ■ 試験準備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取り扱い製品のコストに強み ■ 利用者にとって幅広い選択肢がある ■ 質の高いユーザーベース 	無料お試しが使えないので魅力が比較的乏しい
サブスクリプション	<ul style="list-style-type: none"> ■ スキル開発 ■ オンライン資格取得 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続的な収益 ■ ユーザーの参加が安定的 ■ 安定的に収益を生み出す 	そのサービスにUSPの優先順位がない場合は、消費者にとって価値の維持は難しい
企業向け販売	<ul style="list-style-type: none"> ■ STEAMキット ■ 能力評価 ■ ERPソリューション 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 収益の規模が大きい ■ 販売後の収益 ■ 買い手の購買力が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 従来型の教育や企業に高く依存している ■ 買い手には新世代のテクノロジーを取り入れようとする意識があまりない

出典：The Future Of India's \$2 Bn Edtech Opportunity © 2020, Inc42 Media

コロナ禍において、EdTechは明らかに投資のターゲットになっている

インド国内スタートアップの資金調達

	2019年 上期	2019年 下期	2020年 上期* (~6月26日)	対 2019年 上期
投資額 (百万米ドル)				
全体	4,600	5,400	4,100	-10.9%
EdTech	108	296	795	636.1%
取引件数				
全体	393	356	272	-30.8%
EdTech	19	23	25	31.6%
1件あたり投資額 (百万米ドル)				
全体	11.7	15.2	15.1	28.8%
EdTech	5.7	12.9	31.8	459.4%

EdTechスタートアップ数

- 3,600社 Nasscom
- 4,450社 DataLabs
- 6,583社 Tracxn

BYJU'SとUnacademyを除いた場合、21.1%減少
(投資額は、それぞれ2億米ドルおよび1億1,000万米ドル)

「EdTechスタートアップは2020年上期のVC投資のうち17.2%を占めた」

この業界での最大取引

- BYJU'Sは2億米ドルを調達し、次いでさらに2億米ドルの資金注入と1億米ドルの投資を確保した
- Unacademyは1億1,000万米ドルを調達した。直近の資金調達により評価額が5億1,000万米ドルになり「Soonicorn企業」となる
- VedantuはシリーズC資金調達を3回実施し、2,400万米ドル、1,256万米ドル、680万米ドルを調達した。また、VedantuはInstasolvのプレシリーズAに対し200万米ドルを出資した

2020年上期EdTech分野におけるその他主要取引

- SurgeのスタートアップDoubtnutはシリーズAにおいて1,500万米ドルを調達した
- InterviewBitはシリーズAにおいて2,000万米ドルを調達した
- Embibeは1,260万米ドル、次いで6,600万米ドルを調達した
- WhiteHat JrはシリーズAにおいて1,000万米ドルを調達した
- ClassplusはプレシリーズAにおいて250万米ドル、次いでシリーズAにおいて900万米ドルを調達した
- TestbookはシリーズBにおいて834万米ドルを調達した
- Lido LearningはシリーズBを2回実施し、300万米ドル、750万米ドルをそれぞれ調達した

参考 スタートアップが資金調達において成功した最近の事例

投資家からみた最近の有望企業

「インド教育セクターの課題解決」に投資する

2015年以降に誕生したEdTech企業

企業名	概要	創業年	都市	調達資金総額 (米ドル)
Unacademy	体系的な授業をライブで行うオンライン学習プラットフォーム	2015	ベンガルール	90,169,395
Stepapp	5~10年生の児童・生徒向けのゲーム化された学習アプリ	2015	ムンバイ	28,054,400
KrazyBee	EMI(定額月分割払)に基づく学生向け購買ローン	2016	ベンガルール	13,000,000
CollegeDekho	大学検索性オンラインプラットフォーム	2015	グルグラム	12,000,000
WhiteHat Jr	子供向けコーディング学習プラットフォーム	2018	ムンバイ	11,352,060
Play Shifu	拡張現実を活用しての学習	2016	ベンガルール	10,942,113
Flex Class	スポンサーつきMOOC(オープンオンライン教育)プラットフォーム	2015	デリー	8,682,918
Awign	インターンシップ向け求人掲示板	2016	ベンガルール	8,000,000
Verzeo	インストラクターによる指導で行う大学生および新卒向けオンラインコース	2017	ベンガルール	5,859,806
Auxilo	学生向け教育ローンおよび教育機関向け中期貸付	2017	ムンバイ	5,740,110

出典 Tracxn

業界内でのロールアップ（統合・買収）が進んでいる

雇用の増加

BYJU'Sは今後半年間に事業開発、コンテンツ、技術部門において4,000人を雇用する予定。

Unacademy、Toppr、Gradeup、Simplilearn、Cuemath、Great Learningにおいても採用増予定。

さまざまな形を組み合わせた学習方法

オンデマンドや事前録画コンテンツのサブスクリプションパッケージの一部として、ほとんどのスタートアップがライブ授業を無料で提供している。

インド国内での普及

BYJU'Sは既にユーザーの65%が大都市以外の居住者である。また地方言語での学習モジュールを開発すると発表している。

再編/M&A

競争やユーザー需要がピークに至り、小規模事業者のなかには大手に買収される事業者も存在する。

スキルアップコースの拡大

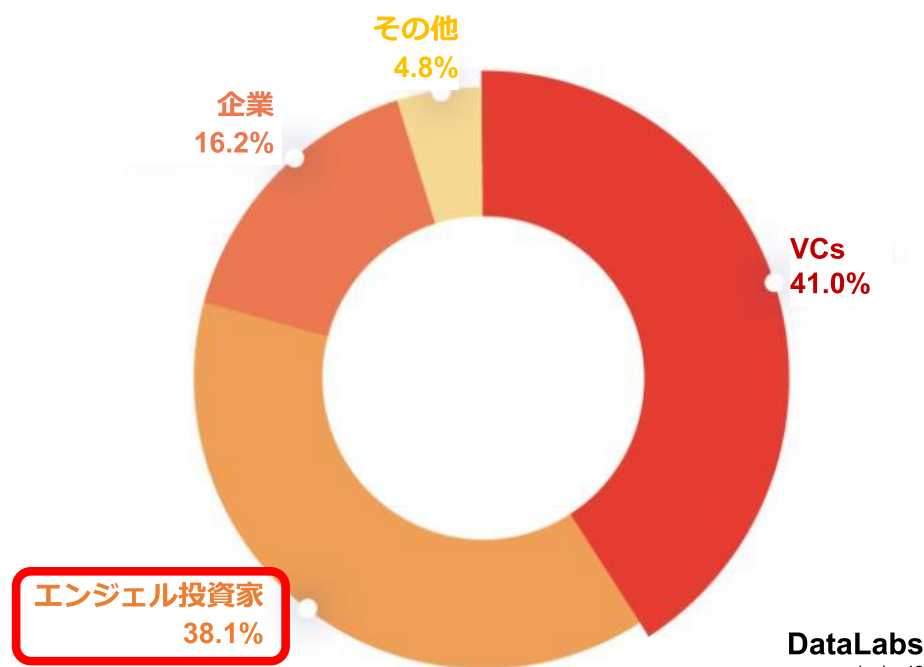
Udemy、Coursera、upGradなどの大手スキルアッププラットフォームは優れた無料コースを提供している。「無料オンラインコース」はスキルアップサイトでもっとも検索される語句である。

- Facebook傘下のUnacademyは試験準備プラットフォームKreatryx、非営利コーディングプラットフォームCodeChef、医学部入試準備スタートアップPrepLadderを買収した
- 報道によると、BYJU'SはシリコンバレーのOwl Venturesおよび中国のテンセントと協力し、3億米ドルでのWhite Hat Jr買収を協議中である
- BYJU'Sは、1億2,500万米ドルでのSequoia SurgeスタートアップDoubtnut買収を協議中である
- 非EdTech企業の参入が見られる。通信大手Bharti Airtelは子供向け学習プラットフォームLattu Kidsの株式の10%を取得した
- Blackstone傘下のテストコーチ企業Aakash EducationalはK12向けプラットフォームMeritnationの過半株式を5億ルピーで取得した
- スキルアッププラットフォームのupGradは、EdTech企業2~3社を買収するために5億ルピーを確保した

参考 ベンチャーキャピタルはコロナ以前からEdTechに注目

2019年のEdTech投資は、ベンチャーキャピタルならびにエンジェル投資家が主役

ユニーク投資家105のうち43がベンチャーキャピタル企業である



出典：The Future Of India's \$2B EdTech Opportunity Report 2020 ©2020, Inc42 Media

コロナ禍においてさらに加速

インドEdTech業界VCトップ10社

投資家	参加取引件数	支援したスタートアップ
Blume Ventures	11	Unacademy MockBank
Sequoia Capital	10	BYJU'S Eruditus
Omidyar Network	9	Vedantu Whitehat Jr
Nexus Venture	7	Quizizz Unacademy
Saif Partners	6	Toppr Unacademy
Accel Partners	6	Edupristine Vedantu
Innoven Partners	5	Flintobox Simplilearn
Helion Venture Partners	5	Simplilern Toppr
Indian Angel Network	4	Thinkerbell Labs University Living
India Educational Investment Fund	4	ChipperSage Oliveboard

- 教育産業を取り巻く状況
- 国家教育政策（NEP2020）
- EdTechの傾向
- 日本のEdTech産業のインド戦略

インド人向けに「Wow Value = めっちゃいいで！」 をローカライズすることからスタート

インドへの入り口

Wow Valueの価値 = 現地の人々にとっての‘Wow’

現地からの視点に絞り込み、探す。ローカライゼーションは必須。



日本からインドへの
従来の視点



B) NGO/NPOルート
(CSRに基づく)

1. 公立学校間のデジタルディバイド；
機器の普及率
 - コンピュータ/ノートパソコン：2.51%
 - タブレット：0.89%
 - インターネット接続可能なスマートフォン：47.98%
 (接続不可を含んだ場合：プラス10.42%)
2. 古いデバイスを利用するための専用OSの需要もある
(Classplus、Sunblazeなど)

A) 公的ルート
(政府に対する支援)

1. 国や州の省庁などによる調達機会の公表
2. 「Wow Value」を提案し、これまでにない機会の創造を目指す。現地の状況に細やかに対応することが必要である
3. 未来の国家や州創りに向けた長期的なロビー活動

インド国内OS市場シェア 2020年9月

- Android-64.12%
- Windows-28.73%、
- iOS-2.34%、
- OS X-2.26%、
- Linux-1.07%、
- 不明-0.87%

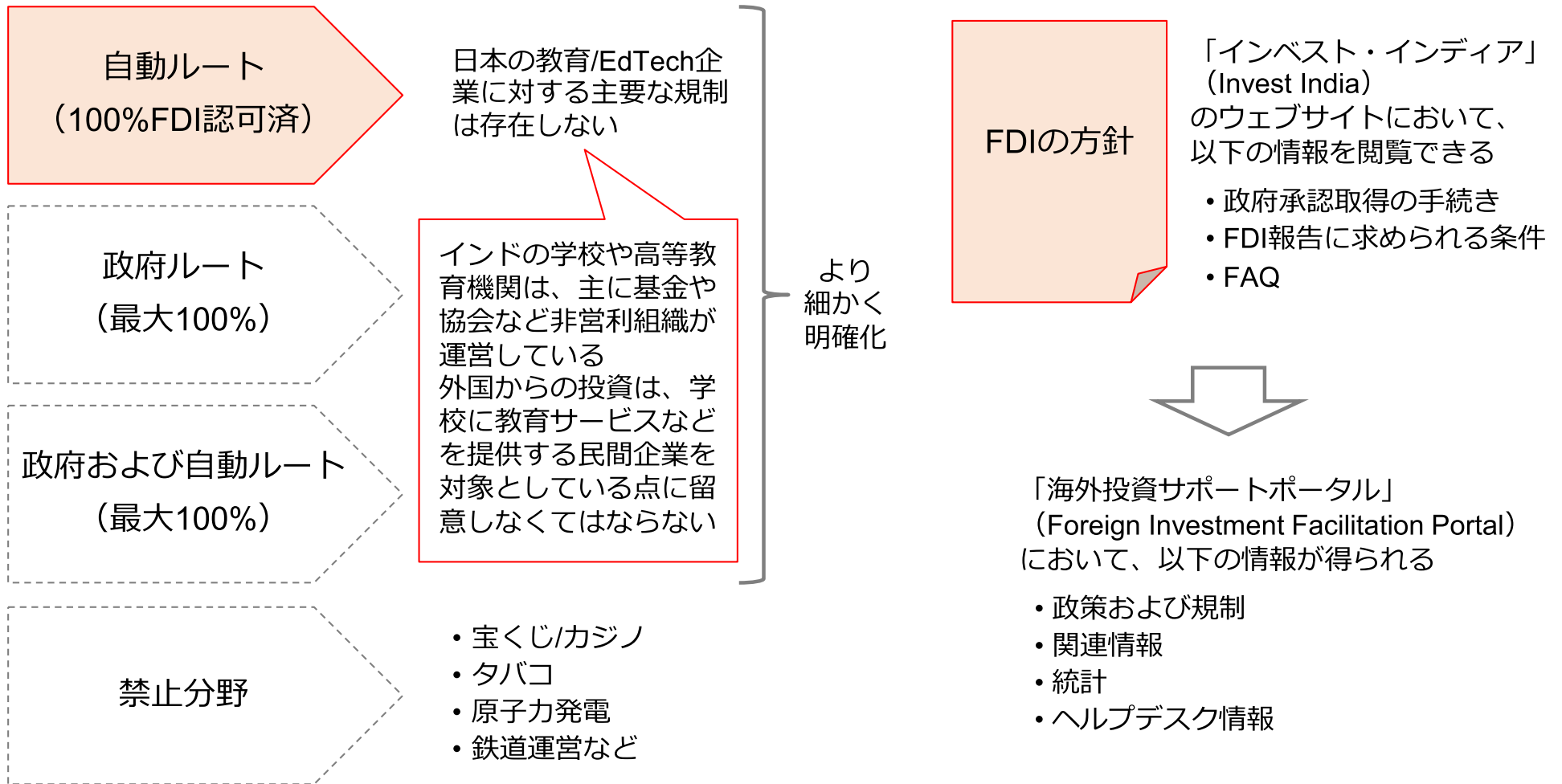
市場参入にオススメの
アプローチ

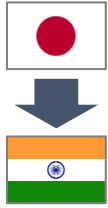
C) ビジネスルート
(民間企業との連携)

1. 自己完結型（例：フランチャイズ）
大規模な投資なしには、成功が困難である
2. 現地プラットフォームと連携し、トライアルを実施する。既存モデルや強みから‘Wow Value’を見つける

参考 教育／EdTechセクターには主となる外資参入規制が存在しない

外国投資許認可手続き





1. コンテンツ

インド市場への参入には'Wow Value = めっちゃエエで！'が必須

民間ルートに必要な2ステップ

インドの将来に向けた未来志向のコンテンツ

生涯学習					
職業訓練					
高等教育					
初等中等					
保育 未就学児					
修学年次/目的	スポーツ 健康 体育	道徳 倫理 家事	言語 STEAM	音楽 文化	産業スキル 技術
テーマ/科目					

NEP2020で再編成？

a. インド人に適したコース設計

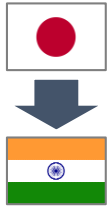
- ・ オンライン、オフライン等
- ・ 個人指導、教室における講義
- ・ ライブ、オンデマンド、事前録画
- ・ 一度ずつの支払い、サブスクリプション、コースごとの支払い等

b. 実施プラットフォームの選択肢 (または本人による構成)

- ・ インフラと言語
- ・ 対象とするユーザー層
 - 地域
 - 修学年次/目的
 - 関心分野/期待
 - 価格設定等
- ・ その他の項目
 - テクノロジーの選択・適合性
 - 教師に求められる能力
 - その他のサポート技術・機能等

a. 現地をよく知るパートナー/アドバイザー

- ・ 教育業界の企業・組織 (例: 教育機関等)
- ・ 金融投資家 (例: VC、エンジェル投資家等)
- ・ 現地の専門家

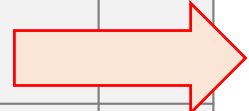


1. コンテンツ

ヤマハは初めての楽器「体験」をターンキーとして提供する 学校向け音楽プログラム

生涯学習					
職業訓練					
高等教育					
初等 中等					
保育 未就学児					
修学年次/目的	スポーツ 健康 体育	道徳 倫理 家事	言語 STEAM	音楽 文化	産業スキル 技術
テーマ/科目					

空いている部分 = 現在インドで競争が少ない
または、全くない分野



150校以上の教育施設において、7,000人以上の児童・生徒がこのプログラムを利用し学んでいる

費用対効果が高い、メンテナンスが簡単
子供にとって魅力的

導入理由

- 低コスト
受容性が高い
- 低年齢から
楽譜に親しむ



- リコーダーはメン
テナンスが容易
- ユニーク



スタート
キット

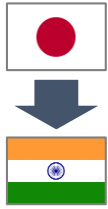
包括的なターンキーソリューション



コロナ禍での
学習支援



オンライン教員養成プログラム：接触なしに行える養成プログラム
児童・生徒が集中できるように「オンラインレッスンビデオ」を提供



1. コンテンツ

職業訓練を早期に開始する「高専」という考え方

早期職業教育

生涯学習					
職業訓練					
高等教育					
初等 中等					
保育 未就学児					
修学年次/目的	スポーツ 健康 体育	道徳 倫理 家事	言語 STEAM	音楽 文化	産業スキル 技術
テーマ/科目					

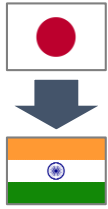


「学問以外」に関心のある学生が選べる選択肢

- ◆ **高専**
カリキュラムは5年制であり、学問と産業技術訓練を併せ持つ学校
9年生を修了した生徒を受け入れ、国がほとんどの支出を賄う
例：インドのNTTF
- ◆ **鉄道高校**
鉄道産業に特化した学校
一般学校の9年生を終了した学生を受け入れ、政府や業界が支出を賄う



高専が競い合う全国ロボットコンテスト



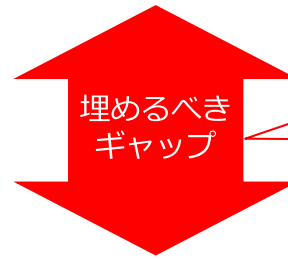
1. コンテンツ

未来の協働の基礎となる「Life as Art = たおやかに、美しく生きる」

「Life as Art」という考え方

生涯学習						
職業訓練						
高等教育						
初等 中等						
保育 未就学児						
修学年次/目的	スポーツ 健康 体育	道徳 倫理 家事	言語 STEAM	音楽 文化	産業スキル 技術	
テーマ/科目						

産業界での協業/貢献
(例：JIM：インド日本式ものづくり学校)



日本の幼年期教育
で育まれる性質



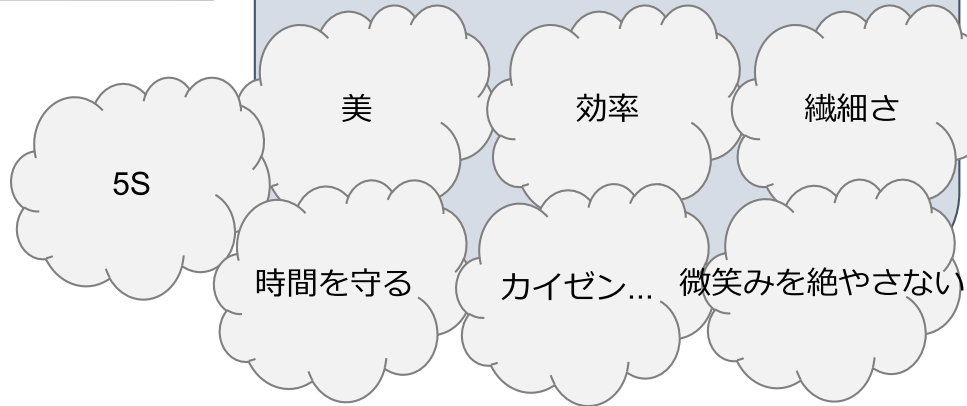
日本の「Life as Art」：

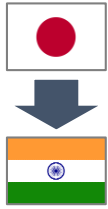
日々の暮らしにとけこんでいる

- ・折り紙、俳句、弁当、コスプレ、盆栽等
- ・“道” – 生け花、茶道、書道等



注意！！
日本の「型」をそのまま持ち込むのではなく、インドの現状に即しつつ、インドの将来を見据えた「Life as Art」の紹介・導入が求められる





1. コンテンツ

玩具は日本から提供できる‘Wow Value = めっちゃ工場で！’になりえる

「国産玩具のために声をあげよう」

モディ首相の月例ラジオスピーチ “Mann ki Baat” 2020年8月31日

「世界の玩具市場7兆ルピーにおけるインドのシェアは非常に低い」とモディ首相は語った。

「歴史遺産や伝統、多様性、若者人口がこれほど豊富な国であるにもかかわらず、玩具市場のシェアがこのように小規模であってはならない..」

「スタートアップや新進気鋭の起業家のみなさん、連携して玩具を作りましょう。国産玩具のために声をあげましょう」

カルナータカ州コッパル(Koppal)に インド初の玩具製造地区ができる

カルナータカが誇る玩具製造の伝統を活用

- 面積 400エーカーの経済特区
- アクセス NH63とベラガヴィ空港を利用
- 推定投資額 500億ルピー
- 雇用創出 4万人
- 玩具産業成長率 年平均成長率18%
- 2023年までに見込まれる市場規模 230億ルピー

#VocalForLocal (国産を呼びかけよう) #AatmaNirbharBharat (インド自給自足)

BSイェドゥラッパ
カルナータカ州首相

日本にとっての好機

- ・カルナータカ州は即応し、伝統玩具製造地区にコッパルを指定した
- ・ベンガルールテクノロジー（例：IoT/IT、ロボット工学、AIなど）は同産業や製品のイノベーションに有利
- ・日本企業はインドのテック企業と協業しつつ、ジェトロが取り組むベンガールの「日印スタートアップハブ」を活用することにより、日本の玩具産業の経験をインド市場において活かすことが可能である。



2. コース設計～プラットフォーム～パートナー

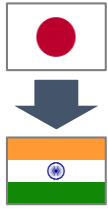
提供形態や会員数、成長性などから適切な参入の足掛かりを見極める

大手プラットフォームの近況概要

	事業の中心	ユーザー サブスクライバー数	評価額 (単位：10億米ドル) (コロナ前 → 直近)
BYJU'S	学校を超えたオンライン家庭教師プラットフォームとなることを重視 総合的なeラーニングプログラムを提供	5,700万 240万	8.0 → 11.0 (1.4倍)
Unacademy	当初はYou Tubeチャンネルとしてスタート 学生の試験準備を支援	3,000万 35万	0.40 → 1.45 (3.6倍)
Vedantu	トップレベルの講師によるライブ指導サイト	2,500万 7万5,000	0.28 → 0.60 (2.1倍)
Eruditus	世界のトップビジネススクールによるエグゼクティブ教育プログラムを提供	不明 不明	0.41 → 0.70 (1.7倍)

「Unacademyの創業者 Gaurav Munjal は、BYJU'Sや Vedantu といった同業ではなく Netflix と競争したいと語っている。各プラットフォームの目指すものがいかに異なるかを示している」

「インドのEdTechスタートアップは、2020年に15億米ドル超を調達した。これは過去5年間にスタートアップが調達した総額に相当する。Redseerの報告書によると、インドのEdTechスタートアップは、2014～2019年に16億米ドルを調達した。」



コロナ禍にあっても教育普及に取り組むNGO/NPOの活動は衰えていない

教育セクターに活発なNGO/NPO

Business Immunity Platform Resources
<https://www.investindia.gov.in/bip/resources/list-ngos-providing-relief-during-covid-19>

MAY 28, 2020
List of NGOs providing relief during Covid-19
 By: Team Sahyog

NGO Name	Brief Description	State	Contact Details
MCKS Food for the Hungry	MCKS Food for the Hungry Foundation a non-profit organization based in New Delhi	Head Quarters in	Please contact Invest India to

List of NGOs on "Invest India" Website

Our Impact

- School Participation >
- Child Marriage >
- Jobs >

95% girls on our programme do not get married before the age of 18

70% girls do not get married before the age of 18

<https://www.magicbus.org/>

Magicbus (Singapore, UK, USA, Bangladesh, Nepal, India)

6.7 MILLION LIVES IMPACTED

330 NGO PARTNERS
 26 STATES OF INDIA
 137 MILLION DOLLARS RAISED

<https://aif.org/>

American India Foundation

OUR REACH

- 12,000 Children
- 5,000 Youth
- 2,500 Women
- 74 Projects
- 365,000 People Over 34 years

<https://vidya-india.org/>

Vidya (Delhi, Mumbai, Bangalore)



日本の子供たちに向けたインドとの機会 世界水準の学びを無償で得られる機会が広がっている

「インドとオンラインで勉強」の機会が登場

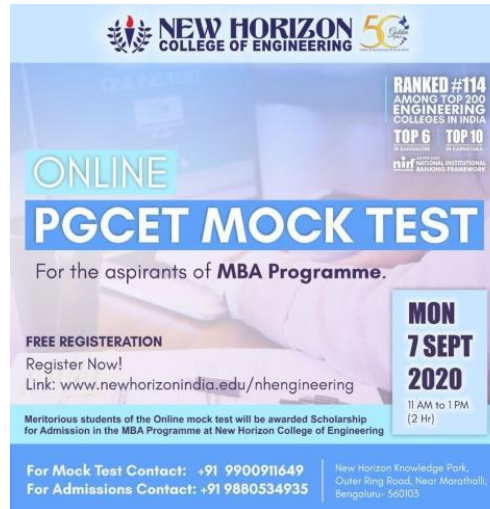
日本の子供にとっての課題

- 自主的なアプローチが必要
 - 日本とは違い、生徒に対する全面的なサポートはない
- 自分の目的に応じたさまざまな測定方法
 - 日本と異なり、単一または少数の基準に従うわけではない
- 「現地」サポートはなく世界ベースの競争
 - 言語やコンテンツのローカライゼーションはない



世界に広がる機会

- 人口規模は50倍超、多様性は100倍超
- 「一本道でトライは一度だけ」の日本と異なり、さまざまなコースで何度もトライできる



ベンガールのMBAスクールが日本など海外の受験希望者向けに模擬入試を無償公開している

世界は急速に「機会活用型」に移行している

主体的に求める者は、時間も費用も制約もなく学ぶ機会が得られる世界が到来している

世界の事例：コンサルティング会社は従業員に無料のMBAコースを提供

- 世界規模のコンサル企業Ernst & YoungはHult International Business Schoolと協力し、世界初の正式認可を受けた企業によるバーチャルMBAコースを開設すると発表した
- 150カ国以上のEY従業員28万4,000人に対し無料で提供する
- EY従業員が新しい働き方に適したマインドやスキルを養うことを支援し、学習はすべてオンラインで実施する
- AI、ブロックチェーン、RPA、社員の福祉、多様性とインクルージョン、持続可能なビジネスなど、幅広い分野から自分専用のカリキュラムを組むことができる



日本の子女に向けたインドとの機会

ネイティブとしてSTEAMを学ぶ-世界への扉としてのインド

扉としてのインドSTEAM

インドからSTEAMを取り入れる

世界における競争力

ネイティブとしてSTEAMを学ぶ-テクノロジーを使って、グローバルなSTEAM教室に参加

細かい指標がなくとも知覚可能

細かい数字がなくとも測定可能

日本語ではなくとも理解可能

細かいガイダンスがなくとも探索可能

オリジナル
な視点を
養う

独自の視点を獲得

参加・共有するテーマ

世界共通の文脈

世界の測定単位

言語の壁を取り払う

VUCAのもとでグローバルな常識を培う

※Volatility (変動性・不安定さ)、Uncertainty (不確実性・不確定さ)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性・不明確さ)